

1 はじめに

- 芸術学部は、建学の精神と学部の定める人材育成の目標（p.151）、そして学科ごとの学位授与方針（ディプロマ・ポリシー、p.152）に基づいて、体系化された教育課程（カリキュラム）を編成しています。ここではそのうち芸術学部全体に共通する部分について説明します。

2 カリキュラムの特徴

1 段階的な科目編成と「科目番号」

- 芸術学部各学科のカリキュラムは「ユニバーシティ・スタンダード（US）科目」と「学科科目」の2種類から構成されています。
- すべての「学科科目」は開講学期および科目番号に従って段階別に編成されています。これによりどのような分野においても、効率的に自身の能力を高めていくことができます。

2 学士号の取得と「履修条件」

- 各学科のカリキュラムは、芸術の多様な分野のそれぞれを効率的に学ぶことができるように設計されています。加えて私たち芸術学部は、そのうちどの分野を選ぶ場合でも「学士（芸術学）」として必要な実技と理論、そして英語力をはじめとするコミュニケーション能力を、バランスよく身につけることが必要だと考えています。
 - このため芸術学部のいくつかの科目には、「必修」や「選択必修」、そのほか同時履修や先行履修条件（プリ・リクイジット）*など、各種の履修条件が設定されています。この条件を守りながら学修を進めていくことではじめて、それぞれのジャンルの専門的な知見と広い視野、そして「学士（芸術学）」として必要な能力を修得することが可能になります。
 - 各学科のカリキュラムについての詳細はp.156以降に記載されています。
- *「先行履修条件」は、所定の試験に合格するなど、その科目を履修する能力があると認められる場合に免除されることがあります（これを「認定」と呼びます）。

▶単位のしくみ

参照「履修ガイド」
p.19

▶ユニバーシティ・スタンダード科目

参照「履修ガイド」
p.49～52

3 卒業要件

芸術学部各学科の卒業要件は、学部で定めた学位授与の方針（p.152「ディプロマ・ポリシー」参照）とカリキュラム編成の方針に基づいて設定されています。詳細は各学科の該当ページを参照してください。

4 卒業までの単位配分

- 卒業までに必要な単位数は、第1セメスターから第8セメスターまで、合計124単位です。
その内訳は次のとおりです。

科目群	科目分類	パフォーマンス・アーツ学科	メディア・デザイン学科	芸術教育学科
ユニバーシティ・スタンダード科目	玉川教育・FYE科目群 必修	7単位	7単位	7単位
	人文科学科目群 社会科学科目群 自然科学科目群 学際科目群 言語表現科目群	学科の定める必修および必修選択科目の単位を含み、次に指定する単位数を修得していること 2単位以上 2単位以上 2単位以上 4単位以上 8単位以上	学科の定める必修および必修選択科目の単位を含み、次に指定する単位数を修得していること 2単位以上 2単位以上 2単位以上 4単位以上 8単位以上	音楽コース、美術・工芸コースそれぞれの定める必修および必修選択科目の単位を修得していること
学科科目	100番台科目	〈必修〉 「パフォーマンス概論」 2単位 「身体表現Ⅰ」 2単位 「音楽表現Ⅰ」 2単位 「舞台技術・企画構想Ⅰ」 2単位 「パフォーマンスⅠ」 2単位 「パフォーマンスⅡ」 2単位	〈必修〉 「メディア・デザイン概論」 2単位 「メディア・デザイン理論基礎Ⅰ」 2単位 「メディア・デザイン理論基礎Ⅱ」 2単位 「メディア・デザイン演習基礎Ⅰ」 2単位 「メディア・デザイン演習基礎Ⅱ」 2単位	〈必修〉 「芸術教育概論」 2単位
	200番台科目	〈必修〉 「パフォーマンスⅢ」 2単位 〈必修選択〉 「身体表現Ⅱ」 「音楽表現Ⅱ」 「舞台技術・企画構想Ⅱ」 上記3科目より2科目 8単位 「身体表現Ⅲ」 「音楽表現Ⅲ」 「舞台技術・企画構想Ⅲ」 上記3科目より2科目 8単位	〈必修〉 「文化立国論」 2単位 「国際日本学」 2単位	—
	300番台科目	〈必修選択科目〉 「身体表現上級Ⅰ」 「音楽表現上級Ⅰ」 「舞台技術上級Ⅰ」 「企画構想上級Ⅰ」 上記4科目より1科目 4単位 「身体表現上級Ⅱ」 「音楽表現上級Ⅱ」 「舞台技術上級Ⅱ」 「企画構想上級Ⅱ」 上記4科目より1科目 4単位	〈必修〉 「芸術表現学」 2単位 「芸術コミュニケーション演習」 2単位 「メディア・デザイン研究Ⅰ」 2単位 「メディア・デザイン研究Ⅱ」 2単位 「芸術理論研究Ⅰ」 2単位 「芸術理論研究Ⅱ」 2単位	〈必修〉 「芸術教育研究Ⅰ」 2単位
	400番台科目	—	〈必修〉 「卒業プロジェクト演習Ⅰ」 2単位 「卒業プロジェクト演習Ⅱ」 2単位	〈必修〉 「芸術教育研究Ⅱ」 2単位 「芸術教育研究Ⅲ」 2単位
自由選択科目 *	必修・必修選択科目を除く、ユニバーシティ・スタンダード科目余剰単位分の科目、各学科開講科目、および他学部・他学科開講科目			
累積修得単位	124単位以上			

- * 他学部・他学科の科目は、科目によっては、受講できない場合があります。受講を希望する学科の課程表で、その科目が受講可能かを確認し、履修してください。

5 学修継続条件（「警告」と「注意」）

- 芸術学部では、一人ひとりの学生の学修状況が学士課程の修了に向けて適切に進んでいるかをチェックするために、「学修継続条件」を定めています。これには全学部に通ずる「警告」と、芸術学部で設定している「注意」が含まれます。
- 「警告」については本ガイドp.33にある「学修継続条件」の説明を参照してください。
- 「警告」および「注意」は下表の規準に従って適用します。

		年 次		1		2		3		4	
		学 期		春	秋	春	秋	春	秋	春	秋
学 修 継 続 条 件	警告	当該学期のGPAが右の値未満		1.80	1.80	1.90	1.90	2.00	2.00	2.00	2.00
	注意 *右のa またはb に該当する 場合	a. セメスター終了時の累積修得単位数が右の単位数以下		14	30	46	62	78	94	110	当該セメスターでの卒業が不可能な学生
		b. 累積GPAが右の値未満		2.20							

- 「警告」や「注意」を受けるのは、十分な学修上の成果があげられていないときです。その場合は学部の教員から、履修内容や学修の方法に関して指導を受けなければなりません（「注意・警告者対象ガイダンス」）。
- こうした指導を受けても学修状況に改善が見られず、「警告」を3回受けた場合には退学となります（p.33参照）。
- また「注意」を受けるということは、卒業が延期になる可能性が高いということを意味します。

6 履修モデル

- 芸術学部の各学科では、学修の分野と卒業後の進路に応じた複数の「履修モデル」を用意しています。このモデルを参照しながら履修計画を立てることで、正しく、効率的に、自身の求める学修成果や、取得を希望する免許・資格に近づくことができます。それぞれの履修モデルについては各学科の該当ページを参照してください。

▶警告

参照「履修ガイド」
p.33

▶GPA計算例

参照「履修ガイド」
p.28